

研究課題名: onset-to-door time からみた当院の心筋梗塞患者に対する再灌流療法の課題
～発症時刻不明が与える影響を知る～

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2019年1月1日～2019年12月31日までに救急搬送された患者さまのうち緊急経皮的冠動脈インターベンション(ステント治療などの再灌流療法)を施行された方

2. 研究目的・方法

心筋梗塞に於いて発症から来院までの時間(onset-to-door time;OTDT といいます)の延長などが再灌流療法施行に於いて課題であると指摘されています。今回、OTDT が患者さまや再灌流療法施行に与える影響を検討すべく、当院に於いて緊急 PCI を施行された患者さまの比較研究を行います。

研究期間:施設院長承認後 ～ 2020年9月20日

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

①患者さまの背景(年齢・生別・受診歴の有無)、②来院から心臓カテーテル室入室までの時間、③来院から再灌流までの時間(door-to-balloon time :DTBT といいます)、④DTBT 90分以内達成率、⑤心臓カテーテル室滞在時間、⑥ICU 在室日数、⑦入院日数、⑧OTDT 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

柴田翔矢(研究責任者)

医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院 看護部 救急外来

東京都 昭島市松原町 3-1-1 TEL042-500-4433

(2020年3月30日作成(第1.1版))